

Part 1 基本情報

1. インドネシア プロフィール

(1) 正式名称	(和文) インドネシア共和国 (英文) Republic of Indonesia
(2) 政体	共和制
(3) 首都	ジャカルタ
(4) 面積	190万5000平方km
(5) 人口	2億1500万人 (2004年3月)
(6) 民族	ジャワ族、スンダ族など大別して27種族
(7) 言語	インドネシア語
(8) 宗教	イスラム教(90%)、プロテスタント、カトリックほか
(9) 略史	7世紀、スマトラを中心に仏教王国が成立。16世紀にイスラム教が発展。1512年ポルトガルがモルッカ諸島のアンボンを占領。1602年オランダがジャワに東インド会社を設立し、植民地経営に乗り出す。1945年独立を宣言。オランダの承認を得て1950年共和国成立。
(10) 在留日本人	1万1608人 (2003年10月)
(11) 気候	全体に高温多湿の熱帯性気候で、年間を通じて季節の変化はなく、半年ごとに雨季(12～3月)と乾季(6～9月)を繰り返す。年間平均気温は内陸部において摂25度程度。

【参考】
「外務省ホームページ-各国・地域情勢-」 外務省
『最新世界各国要覧 10訂版2000』 東京書籍

2. 業務のための基礎データ

(1) JICA事務所の概要 (ジャカルタ)

住所 : Plaza BII Tower II 27th Floor, Jl. M.H. Thamrin No. 51 Jakarta 10350, INDONESIA

連絡先 : 国番号 :62

地域番号 :21

電話 :+62-21-3907533

FAX :+62-21-3907536

時間外・休日などの緊急連絡先 : 該当情報なし。

URL : <http://www.jica.go.jp/indonesia/index.html>

E-mail : jicain@jica.go.jp

執務時間 : 8:30～16:30 (昼休み12:30～13:30)

休日 : 下記祝日と土曜日、日曜日

1月 2日 Special New Year Holiday

1月 3日 Special New Year Holiday

1月10日 Idul Adha(Rebaran Haji)

1月31日 Hindu New Year

3月30日	Nyepi
4月10日	Maulid Nabi Muhammad Saw
4月14日	Good Friday
5月25日	Kenaikan Yesus Kristus
8月17日	Independence day
8月21日	Isra "Mi" Raj Nabi Muhammad Saw
10月24日	Idul Fitri 1 Syamal
10月25日	Idul Fitri 1 Syamal
12月25日	Christmas

(2006年)

事務所までの交通：

【空港から】

空港からはGolden Bird(またはSilver Bird)のタクシーカウンターからタクシーを利用すること。「Jl. MH. Thamrin Plaza BII」までと行き先を伝える。所要時間は40分程度である。

【空港以外から】

タクシーの利用を勧める。タクシーは必ずホテルなどで客待ちをしているSilver Bird、またはBlue Birdの利用を勧める。電話で呼び出すこともできる。市内には流しのタクシーもあるが、安全の問題からできる限り利用しないこと。Silver Birdは黒い車体、Blue Birdは青い車体である。

【無線タクシー】

・Golden Bird 電話：021-5506430/0226(空港カウンター)、021-7944444

(市内事務所)

・Silver Bird 電話：021-7981234

・Blue Bird 電話：021-7941234

※ 上記は同じ系列のタクシー会社

(Blue Birdグループ URL：<http://www.bluebirdgroup.com/>)である。

事務所周辺地図



※「3 in 1」時間帯(交通規制)のJICA事務所への経路。7:00~10:00、16:00~19:00(土日曜除く)。

- (2) 日本との時差、
サマータイム
- 日本との時差 : -2 時間
サマータイム : 実施していない
- (3) 祝日、
官公庁の休日
- 祝日 :
- | | |
|--------|---------------------------------|
| 1月10日 | Idul Adha(Rebaran Haji) |
| 1月31日 | Hindu New Year |
| 3月30日 | Nyepi |
| 4月10日 | Maulid Nabi Muhammad Saw |
| 4月14日 | Good Friday |
| 5月25日 | Kenaikan Yesus Kristus |
| 8月17日 | Independence day |
| 8月21日 | Isra "Mi" Raj Nabi Muhammad Saw |
| 10月24日 | Idul Fitri 1 Syamal |
| 10月25日 | Idul Fitri 1 Syamal |
| 12月25日 | Christmas |
- (2006年)
- 官公庁の休日 : 上記祝日と土曜日、日曜日
- (4) ビジネスアワー
- 官庁 8:00~16:00 (役所は金曜日のみ 15:00 終業、土日休み)
銀行 8:30~15:30 (土日休み)
商店 10:00~21:00 (月~土曜日)
- (5) 言語
- 業務 : 課、役所部署にもよるが、管理職はだいたい英語を話す。
ホテル、買い物、食事 : 外国人向けのホテル、店ではたいてい英語が通用する。ふつうの市場、一般商店などではインドネシア語が使われることもある。
- (6) 通貨
- 通貨 : ルピア(Rp)
為替レート : 1 米ドル = 8937.5 ルピア (2004 年 11 月 9 日現在)
- (7) 関係機関
- 【在外日本関係機関】
- ・日本大使館
住所 : Jl. M.H. Thamrin No.24, Jakarta 10305, Indonesia
電話 : 021-31924308 FAX : 021-31925460
URL : <http://www.id.emb-japan.gov.jp/top-jp.html>
 - ・在スラバヤ日本国総領事館
住所 : Jl. Sumatera 93, Surabaya, Indonesia
電話 : 031-5030008 FAX : 031-5030037
 - ・東ジャワ日本人会
住所 : Jl.Raya Darmo 31 Bank Resona Perdania 4階
電話 : 547-1400 FAX : 567-3600
開館時間 : 9:00~19:00 (月~金)、9:00~17:00 (土)、日祝日休館
事務局 : Ms.IdaもしくはMs.Yeni
会員約800名。スラバヤに独自の事務所を持っている。事務所には図書室、ビデオ室、会議室等があり、図書、ビデオなどは貸し出しもする。スラバヤでの生活に役立つ「スラバ

ヤガイド」を購入すると、各種情報が手に入る。

【インドネシアの関係官公庁】

特になし。

- (8) 有用サイト
- <http://www.mofa.go.jp/mofaj/area/index.html> (外務省「各国・地域情勢」)
 - <http://www.mofa.go.jp/mofaj/toko/index.html> (外務省「渡航関連情報」)

Part 2 生活情報

※「生活情報」は特に記載のない限り、スラバヤの情報を中心に掲載しています。

1. ホテル、住宅



1-1 ホテル

インドネシア第2の都市であるスラバヤ市内には、国際的な5つ星のホテルからゲストハウス、アパート(長短期滞在可能)などさまざまな宿泊施設がある。

ホテル料金はシャングリラやマリオット等の最高級ホテルでも100米ドル前後で宿泊することができ、割安感がある。支払いは米ドル払いでもルピア払いでも構わないが、変動が激しいため宿泊前に確かめるとよい。また、ホテルの料金はインドネシア国籍者、長期滞在査証(KITAS、KIMS)所持者、旅行者と段階的に高額になる。

予約はホテルに直接行うより市内の旅行代理店を経由したほうが、割安である場合が多い。また、長期滞在割引などがあるため、詳細については直接ホテルと交渉したほうがよい。

日本人がよく利用するホテルは次のとおりである(詳細はイエローページを参照)。



<5つ星クラス>

- ・Shangri-la (シャングリラ)
- ・JW Marriott (マリオット、旧The Westin)
- ・Sheraton(シェラトン)
- ・Majapahit Mandarin Oriental (マジャパヒット・マンダリン・オリエンタル)
- ・Hyatt Regency (ハイヤット・リージェンシー)

<4つ星クラス>

- ・Novotel (ノボテル)
- ・Garden Palace (ガーデン・パレス)

<3つ星クラス>

- ・Sahid Surabaya (サヒッド・スラバヤ)
- ・Santika (サンティカ)

1-2 住宅事情

在留日本人や欧米人は独立家屋やアパート(ホテル含む)に居住することが多い。外国人が入居する住宅の家賃にはかなりの幅があるが、各人の住居手当を念頭に探すとよい。一戸建ては、市の西側に新たに造成されたGraha FamiliやCiputraといった新興住宅団地(エステート)はセキュリティもよく人気が高い。

2004年2月現在、1000~2500米ドル/月で一戸建てを借りることができるが、アパートは800~3000米ドル/月で一戸建てよりは割高である。在留外国人の数が伸びていないものの住宅の供給は進んでいるため、近い将来値崩れする可能

性がある上、家主との交渉を時間をかけて行えばかなり安く借りることも可能である。

中期滞在者向きアパート、ゲストハウスは次のとおりである。

 Yellow Page

- ・Puri Matahari (プリマタハリ)
- ・Somerset Puri Darmo (サマーセット・プリダルモ)
- ・Graha Residen (グラハ・レジデン)
- ・Kondominium Graha Famili (コンドミニウム・グラハ・ファミリ)

1-3 住宅の探し方

エージェントを通して探すのが一般的で、短期間に数多くの住宅を見ることができる。契約が成立した場合は家主からエージェントへ仲介料(家賃の 5%)が支払われ、借り手の負担はない。エージェントは、入居後の問題についても家主との仲介をしてくれる。

主なエージェントは次のとおりである。

 Yellow Page

- ・Mrs. Natalia (ナタリア)
- ・Mr. Agus (アグス)
- ・Mr. Deddy (デディー)
- ・Mrs. Mimi (ミミ)

1-4 住宅選定上の留意点

外国人が居住しやすい条件が整っている場所は、市内西部地域と中心部のホテルであるが、その他の場所では立地条件としては通勤、買い物時に交通渋滞などの問題がなく、かつ孤立しすぎていないところがよい。また、モスクや学校の近くは騒音や道路の混雑に悩まされるので避けたほうがよい。雨季には市内各所で洪水が発生するため、洪水頻発地帯は避けたほうが懸命である。

家屋については、雨漏りの有無(特に乾季に契約する場合)、給水状況(上水道・井戸とも実際に水を出してみる)、電気の許容量、電話とファックスの有無、ケーブルテレビの有無、防犯設備(外壁、窓の鉄格子)の有無、水ポンプ・タンクの有無や位置、衛生状態、家屋内設備、電気機器の機能などに留意すること。エステート以外の一般家屋に居住する場合は、隣人等についても確認の必要がある。

使用人と家族の居住区は鍵付きの扉で分かれており、それぞれに独立したトイレ、台所がついていることが必要条件である。

賃貸物件はほとんどが上記の仲介エージェントを通して行う。物件に何か問題(雨漏り等)があった場合でも、直接家主と交渉するのではなく仲介エージェントに修理等を依頼するため、エージェントの選定が鍵となる。家主はスラバヤ在住者であることが望ましい。

1-5 住宅の契約

家賃は契約時に契約期間分を前納するのが一般的であり、その分家賃も安く抑えることができる。ホテル等は交渉しだいで月払いが可能である。一般的には家主からは2、3年分を要求されることが多いが、1年でも契約可能である。通常、契約時に2、3カ月分を前納し、残金は入居時あるいは住居手当が到着する時期を考慮して支払日を決める。

基本的な家具、電化製品はついているが、古かったり、趣味に合わないものは入居前に交換を依頼する。また、網戸がついていない物件が多いため、極力網戸をつけるよう交渉する。一戸建てですべてに網戸をつけるための工事には通常1、2週間必要である。

雨漏り、配線、配管などの構造欠陥の修理責任は家主にあることを明確にすること。支払い通貨は米ドルが一般的である。

1-6 ガス、水道などの手続きと管理

公共料金の支払いは、一戸建ての場合は借主が行うが、アパート等は管理部門が代行してくれる場合が多い。自分で支払う場合は、支払期日や支払場所について家主(または仲介エージェント)に確認すること。また、一時帰国するような場合には支払いを代行してもらうよう依頼すること。

- ・電気 : 居住区域により支払窓口、支払期日が異なる。銀行口座からの引き落としも可能。
- ・電話 : 番号により支払銀行、支払期日が異なる。銀行口座からの引き落としも可能。
- ・上水道 : 期日までに所管水道局窓口に支払う。
- ・放送受信料 : ケーブルテレビを契約した場合、毎月指定口座に振り込む。
- ・町内会費 : エステートの場合は管理組合に支払い、一般住宅の場合はゴミの収集費をRT(隣組)の組長に支払う。
- ・プロパンガス : 電話注文できるので、家主に電話番号を聞くとよい。

1-7 家電

(1) 電圧

電圧は220V、周波数は50Hzである。国際仕様(100~240V対応)の製品は変圧器は不要である(日本仕様・100V対応製品には変圧器が必要)。また電圧が安定していないこともあるので、PC等にはスタビライザーや無停電電源装置を併用するとよい。

(2) コンセント、モジュージャックの形

インドネシアのコンセントの形状は10種類以上あり、居住する家によってもまったく形状が異なる場合がある。ほとんどの形状のプラグは街のスーパーで購入できるため、家を決めてから購入したほうがよい。

電話のモジュージャックの形状は日本と同じである。

(3)家電製品

家電製品は世界の有名メーカーの製品がすべて現地で購入可能である。台所家電については「4-3(1)食器、調理器具などの入手」を参照。

1-8 家具保険

高額な家財は持ち込まないほうがよいが、やむを得ず持ち込む場合は保険をかけるとよい。家財や車の保険会社は次のとおりである(詳細はイエローページを参照)。



・P.T. Asuransi Mitsui Sumitomo Indonesia

1-9 その他

ミネラルウォーター用の電気冷熱器を家主に交渉してつけてもらうと便利である。また、日本製の浄水器(大型)をつけてもらい、家庭内のすべての水はこの浄水したものを使うと安心である(飲料に適すとされているが、飲料用にはミネラルウォーターを使用する家庭が大半である)。

アパート(ホテル含む)やエステートを除き、入居したらできるだけ早く RT(隣組)の組長に転入の届け出をする。この場合もエージェントに聞くと届出方法などを教えてくれる。この RT は行政組織の末端で、いろいろな意味で生活を補佐してくれる。ゴミ処理の方法、夜警などについても尋ねるとよい。集会届けもここに出す。

2. 衣料、理容



2-1 衣料全般

(1)一般事情

スラバヤはジャワ島内でも一番暑い地域といわれている。最高気温は他とそう変わらないものの、特に湿気が多く非常に暑い。日中の気温は摂氏 27~35 度で、夜間でも 25 度ぐらいはある。乾季の終わりごろ(8、9 月)は非常に過ごしやすいものの、その時期以外は熱帯夜が続く。平均気温は年中ほとんど変わらず、基本的には半袖または長袖シャツ、薄手のセーター類で過ごせる。ただし、ホテル、レストランや車内は冷房が効きすぎて寒いため、その対策や夜間用に長袖の上着やカーディガン等も必要である。

衣類は豊富に出回っており、価格は日本に比べて非常に安い。ブランド品も多種ある。また、注文仕立てもできる。日中は暑いので綿製品が快適であり、水洗いできる素材が便利である。

衣類の多いショッピングセンターは次のとおりである(詳細はイエローページを参照)。



・Tunjungan Plaza(トゥンジュンガン・プラザ)

・Galaxy Mall(ギャラクシー・モール)

このほか、市内各所にショッピングモールがある。

(2) 日本から持参したほうがよい衣料

男性用下着類はトランクスがないため持参したほうがよい。女性用下着類は現地生産の「ワコール」「トリンプ」などがあり、日本への輸出仕様が手に入る。しかし、子供用下着は品質が劣るため日本から持っていくことを勧める。パジャマは薄手の夏物で十分である。

和服は基本的には(仕事や趣味で必要な人以外)不要であるが、日本人会の行事や夏祭りの盆踊りがあるので、浴衣や下駄を用意すると楽しめる。

革靴類も安価であるが、良質のものは少ないか異常に高額になるので持参したほうがよい。子供用運動靴も「アディダス」や「ナイキ」など豊富であるが、幼児の靴はサイズに限りがあるため持参したほうがよい。

(3) 現地で調達したほうがよい衣料

男性用バティック(ジャワ更紗)は公式の行事やパーティーなどに着用できる。また、婦人用のバティックも仕立てられる。

バティック生地などは次の店で扱っている。



- ・Batik Keris (バティック・クリス)
- ・Danar Hadi (ダナール・ハディ)

(4) その他の留意点

年中暑いため、洗濯の頻度は高い。特に下着類は傷みの早さを考慮して多めに用意するとよい。

2-2 礼装

(1) パーティー

男性は長袖バティックかスーツを着用、女性はワンピースなどふつうの外出着でよい。靴は革靴。

(2) 式典

男性は背広かサファリスーツ(現地で仕立てることができる)、または長袖バティックを着用する。靴は革靴。

(3) 冠婚葬祭

現地の人は、結婚式には背広か長袖バティック、女性は民族衣装かふつうの外出着で、特に改まったものは着用しない。

葬儀には日本のような黒の喪服は着用せず、喪主もふだんの服装である。

(4) その他の留意点

ゴルフ、テニス、サッカー等のスポーツ用衣料品や靴は、「アディダス」「ナイキ」「ウィルソン」などをはじめ、質量ともに豊富である。

2-3 洗濯、仕立て、修繕、保管

(1) 洗濯

使用人が水洗いをし、アイロンをかける。アイロン、アイロン台、洗濯機は住宅についているので日本から持参する必要はない。

日本ほどの技術はないが、ドライクリーニング店は多数ある。クリーニング専門店のほか、大きなホテルでもドライクリーニングを受け付けている。主なものは以下のとおり。



- ・Royal (ローヤル)
- ・5a sec (リマアセック)

(2) 仕立て、修繕

布地は現地物から欧米の最高級品まで多種に及び、男女ともテーラーで仕立てることができる。また、本場のパティック地などで仕立てるのも楽しい。布地に比べ仕立て代は安価で、スーツ等を作る場合は自分の持っているものをサンプルとして持参すると、驚くほど同じ寸法で作ってくれる。特に上等なものを要求しない限り、男性用シャツは日本円で 1000 円ぐらいである。生地が豊富にあるので女性用外出着も仕立てられる(日本円で 2000~5000 円ぐらい)。また、バッグなど、皮革製品の仕立てもできる。

技術は店によりさまざまで、紳士、婦人服とも扱っているところも多い。衣類等の主な仕立て店は次のとおりである。



<紳士服>

- ・Tung Sie (トウンシー)
- ・Oscar Tailor (オスカー・テイラー)

<婦人服>

- ・My Lady (マイレディー)
- ・Sisca Dressmaker (シスカ・ドレスメーカー)

<靴、バッグ>

- ・Desin Nino (デシンニノ)
- ・Cula Moss (チュラモス)

(3) 保管

雨季には湿気が多いので、除湿剤が役に立つ。また駆虫剤等も必要である。高価なものや、特別な手入れが必要なものは持参しないほうがよい。

2-4 美容院、理髪店

美容院と理髪店を兼ねているところが多く、一般的にサロンと呼ばれている。パーマをかける場合はパーマ液などが合わない場合があるので注意が必要である。ジャカルタでは日本人が経営している美容院があり、日本と同じパーマ液等を使っているが、スラバヤの高級店では欧米のものを使っている。多くのサロンではフェイシャルマッサージ等もできる。

男性の場合、シャンプー・カット大人 2 万~6 万ルピア、子供 2 万~4 万ルピアである。

女性の場合、パーマ 40 万~100 万ルピア、シャンプー・カット 5 万~30 万ルピア、セット 5 万~10 万ルピア、カラーリング 10 万~25 万ルピア。

自宅で手入れをする場合は、必要に応じて、養毛剤、ヘアカラー、セルフパー

マセット、散髪セットなどを持参するとよい。

日本人がよく使う理髪店、美容院は次のとおりである。



- ・Princess(プリンセス)
- ・Jayanata(ジャヤナタ)

3. チップ



3-1 チップ事情

(1) 習慣の有無

基本的にチップの習慣はないが、バリ等の観光地では欧米化しており、観光客はチップを払う場合がある。日常では、レストランなどでお釣りの小額紙幣、コイン等をチップとして置くことがある。しかし、チップを置かないからといって文句をいわれることはない。

(2) 各種サービスに対するチップ

基本的にはチップの習慣はないが、空港のポーターには荷物1個につき3000～5000ルピア／荷物が一般的である。

ホテル、レストラン等も基本的には渡す必要はないが、気持ちの問題なのでレストランの釣り銭の細かいものや、ホテルのベッドメイキングやポーターに3000ルピア程度渡す人もいる。

4. 食生活



4-1 外食

(1) 一般事情

インドネシア料理、中国料理、海鮮料理、日本料理など、あらゆる種類のレストランがある。5つ星ホテルのレストランを除きどこも安価でおいしい。なお、ローカルレストランでは生水、生野菜等は極力避けることが賢明である。「マクドナルド」「ケンタッキー・フライドチキン」「ピザハット」などのファストフード店もある。

(2) 飲食店

レストラン、食堂、屋台など、大小さまざまな飲食店があり楽しめる。人気のある店は予約することを勧めるが、大人数でない限り座れないということはない。主なレストランは以下のとおり(詳細はイエローページを参照)。



<日本料理>

- ・Nishimura (西村)
- ・Imari (伊万里)
- ・Sui (粋)
- ・Tong-Tong (とんとん)

<インドネシア料理>

- ・Kebon Kelapa (クボンクラパ)
- ・Ulam (ウラム)

<中国料理・海鮮料理>

- ・Sea Master (シーマスター)
- ・Sarkies (シャーキーズ)

<韓国料理>

- ・Baik Su (バイス、百壽)
- ・Myoung Dong (ミヨンガ、名家)

<西洋料理>

- ・Angus House (アングスハウス)

<タイ料理>

- ・Coca Suki (コカスキ)

4-2 食料

(1) 一般事情

生鮮食料品、乳製品、乾物、缶詰、調味料、酒類など、国産品、インドネシア製の外国銘柄品、輸入品などが豊富に出回っており、一般的に価格は安い。市内に日本食専門のスーパーが3件あり、日本食材、調味料等は比較的容易に手に入るが、日本の価格の1.5~2倍と割高である。

衛生的ではない店もあるので、特に生ものについては注意を要する。

(2) 主な食品の出回り状況

<米>

多くの日本人家庭では日本米「錦」やカルフォルニア米を使っているようであるが、現地米に比べると割高である。現地米にもち米を独自にブレンドして食している家庭もある。

<パン>

日本食スーパー(パパヤ)にパン屋(小麦)が併設されており、種類も多く日本と全く同じものが手に入る。

<野菜・果物>

野菜も豊富に手に入る。果物は熱帯特産のものが季節により豊富に出回る。最近では、オーストラリア産のフジりんご等も手に入る。

<肉類・魚類>

現地産の牛肉は安価だが、質が劣るため、オーストラリア産、ニュージーランド産、米国产(執筆時点では米国のBSEの影響で輸入が停止しており店頭にはない)等を食している。鶏肉はブロイラーや地鳥が容易に手に入る。卵もどこでも手に入るが、新鮮なものでも生食は避けたい。魚介類は、新鮮なものは手に入りやすいが、基本的に生では食べないので十分といえる。

<牛乳>

ニュージーランドやオーストラリア製のロングライフ牛乳が手に入る。

<菓子類>

スナック菓子等は、日本製、韓国製、インドネシア製の菓子が手に入るが、日

本製の菓子はほかに比べて相当高額である。また、いわゆる洋菓子店があり、ケーキ、クッキー等が手に入る。お菓子の材料も豊富にあるため、自家製を作ることも可能である。

<飲料水>

水道、井戸とも飲用には適さないので、ミネラルウォーターを用いる。250 ミリリットルから1.5リットル入りのペットボトルがどこでも手に入る。家庭では、ミネラルウォーター・サーバーに19リットル入りのものを使用する。店頭で買うか電話で配達してもらう。連絡先は以下のとおり。

・Aqua P.T. Tirta Investana

所在地 : Jl. Rungkut Industri 3/9

電話 : 031-8431163

備考 : 国内最大手のミネラルウォーター会社、市内各所に小売店があり、スーパー等でも容易に手に入る。

<その他>

調味料、乾物、缶詰などの日本食品は割高ではあるが、たいいていのものは入手できる。酒類は各種の洋酒が揃っており、日本酒や焼酎もある。スラバヤに免税店はないので、バリやジャカルタの免税店を利用するとよい。

(3)食料の入手

パサール(ローカルマーケット)には新鮮で珍しいものがあるが、衛生状態等を考えると、現地に来たばかりの人が1人で行くのは無謀である。通常はメイドさんに行ってもらおう。ただし、午前4:00ごろから開かれ、午前10:00ごろには品薄になるため、朝早く出かけなくてはならない。

日本食品は、市内に3件ある日本食スーパーでほとんど揃う。日本食品を含めて、主な食料品店は以下のとおり(詳細はイエローページを参照)。



<食料品店>

・Cosmo (コスモ)

・Papaya (パパヤ)

・Hero Supermarket (ヘロー・スーパーマーケット)

<菓子等>

ケーキ、クッキー等の菓子類は5つ星ホテル内で販売している。誕生ケーキなどの注文もできる。また、「ダンキンドーナツ」なども多数ある。

4-3 食器、調理器具

(1)食器、調理器具などの入手

電子レンジ、炊飯器、オーブントースター、ミキサー、コーヒーメーカーなどの電化製品は、日本や欧米の主要メーカーのインドネシア製が多数あり、値段も手ごろで品質もよい。また、借りる家に備えられている場合もある。冷蔵庫はたいいていの家についており、ない場合は家主に要求できる。購入する場合は電圧の関係から現地で入手したほうがよい。変圧器も現地で購入できる。その他の調理器具、

鍋類、食器も数多く出回っている。和食器も市販されており、種類も増えている。

(2) 日本から持参したほうがよい食器、調理器具

お茶など嗜好品は持参したほうがよい。すり鉢、すりこぎはない。包丁もよいものがないので、使い慣れたものを持ってきたほうがよい。

5. 生活用品の購入



5-1 家電製品

家電製品は日本とまったく変わりがないほど、種類、メーカーとも豊富である。ショッピングモールなど、市内各所の電気店で購入できる。また、電気店が多く軒を連ねる電気店街(所在地: Jl. Kertajaya)があり、他店と値段を比較して値段交渉をすることも可能である。

5-2 家具

家具は高級輸入品から現地の廉価なものまで種類も豊富である。また、オーダーメイドもできるので、家具に興味のある人は日本から家具のカタログ等を持ってきて注文するのも楽しい。ただし、基本的に家具は各家に備え付けてあるので特に購入する必要はない。入居する時に必要な家具を大家に購入してもらう。

5-3 日用品、雑貨

前述のスーパーやショッピングモールでほとんどの日用品、雑貨は手に入る。

5-4 工具、素材など

ハードウェア(日本のDIY)の店があり、日曜大工道具から本格的なものまで幅広く手に入る。

6. 金融機関



6-1 金融機関

(1) 銀行

日系、米国系、英国系、現地の金融機関と、数が多い。また、市内には両替商も多く銀行より換金率がよい場合もある。日系3行には日本人駐在員がおり、日本語での問い合わせも可能である。

日本人がよく利用する主な銀行は以下のとおり(詳細はイエローページを参照)。

Yellow Page

- ・Bank of Tokyo Mitsubishi (東京三菱銀行)
- ・Bank Risona Perdania (りそな銀行)
- ・Bank UFJ Indonesia (UFJ銀行)
- ・Citibank (シティバンク)

(2) 口座の開設と閉鎖

- ・口座の種類 : 円、米ドル、インドネシア・ルピアの普通預金、当座預金の口

座を設けるのが一般的であるが、当座預金は業務以外では必要ない。

・口座開設 : パスポート、居住許可証など各種書類が必要であるため、事前に銀行に問い合わせる。ATM カード(一部邦銀不可)やクレジットカードも発行できる。夫婦で利用できる家族カードの発行も可能。

・口座の閉鎖 : 銀行窓口で容易にできる。

(3) 小切手

業務では当座預金を開設し小切手を発行することが通常であるが、個人利用はあまり一般的ではない。発行にあたっては各銀行に問い合わせる。

大手の会社では小切手による支払いが可能であるが、中小の会社では使えない場合が多い。

(4) 換金方法

円、米ドルの現金からインドネシア・ルピアへの両替は、銀行や両替商で可能であるが、換金レートはさまざまである。現地銀行の支店等では両替業務を行っていないところもあり、また円は両替できない場合もある。T/C は一般的ではないため勧めない。

米ドル換金にあたっては、1996 年以前に発行された紙幣や、しわがついたり折れた紙幣は両替を拒否される場合が多い。また、100 米ドル紙幣と 10 米ドルや 20 米ドル紙幣では換金率が異なる(小額紙幣ほど率が悪い)。

6-2 クレジットカード

クレジットカードは、VISA、MasterCard はホテル、スーパー、モール、レストラン等で使用可能である。Diners Club、American Express は使えるところが限られる。市内の ATM や CD での現金引出しも可能である。また、電気店等ではクレジット会社の手数料を値段に乘せる商習慣があり、カードを使用する場合に 3~5%ほど値段が高くなる場合が多い。

近年、日本で発行されたカードは限度額が高いことから、カード情報を盗まれ偽造されることが多く注意が必要である。偽造カードは香港、バンコク等で使用されるケースが多い。特にバリ等の観光地では高級ホテルでも被害例があるので、日本のカード使用は極力避け、現地で発行されたカードもしくは現金を使うことを勧める(現地のカードでも被害に遭うことはある)。

7. 交通事情



7-1 交通手段

(1) 一般事情

スラバヤは、ジャワ島の東に位置するインドネシア第 2 の大都市である。国内各地への交通の要として航空機、列車、船等の利用は比較的便利である。

<航空>

ジュアンダ国際空港にはジャカルタ、ジョグジャカルタ、バリ、マカッサル等の国内線と、シンガポール、マレーシア、バンコク、香港への国際線が利用できる。

首都ジャカルタとは1時間おきのシャトル便(ガルーダ航空 14往復/日)ほか、多くの航空会社が参入している。

国際線は、曜日によるが、香港やシンガポール経由で成田、名古屋、大阪から同日に移動できる。

航空会社は次のとおりである(詳細はイエローページを参照)。なお、国内線、国際線とも航空券は旅行代理店で購入したほうが各種割引チケットが手配できる。ジャカルタ往復で約 60 万~80 万ルピア、バリ往復で約 60 万ルピア(2004年2月現在)。



<国内航空会社>

- ・Mandala (RI)
- ・Garuda Indonesia (GA)
- ・Merpati (MZ)

<外国航空会社>

- ・Singapore Airlines (SQ)
- ・Cathay Pacific (CX)
- ・Malaysia Airlines (MAS)

<鉄道>

スラバヤ~ジャカルタ間は、超特急アルゴ・プロモ号が片道 19 万 5000 ルピアで1日1往復している(所要時間:片道9時間)。また、特急スプラニ号は片道 17 万 5000 ルピア(エグゼクティブクラス)で1日1往復している(所要時間:片道11.5時間)。そのほか、ジョグジャカルタ、バンドンへも運行している。ある程度時間が正確で座席も広く清潔で快適であるが、冷房が効きすぎているので寒く感じるため上着は欠かせない。駅構内は決して安全とはいえず、置き引きやスリに注意する必要がある。

<バス>

近距離、遠距離バスが、スラバヤ郊外のバスターミナルから各方面に運行している。道路事情、バスの整備不良等から事故が多いため勧められない。

<タクシー、ハイヤー>

タクシーやハイヤーは電話で呼ぶか、道で拾って利用する。スラバヤのタクシーは、一般的に安全でメーターを使用するため価格交渉は必要ない。メーターをつけていない、故障等でメーターが作動しないタクシーは利用しないよう注意する。

主なタクシー会社は次のとおりである。



- ・Surabaya Taxi (スラバヤタクシー)
- ・Silver Taxi (シルバータクシー)

<その他>

市内および近郊では「アングタン・コタ」(ミニバス)が頻繁に走っており、どこへでも乗り継いで行くことができる。市内で1路線利用した場合の運賃は500～800ルピアである。「ベチャ」(人力で走る三輪自転車)は細い道や家の前まで入れるので、荷物の運搬や買い物などに利用する人もいるが、現地に慣れるまでは利用を勧めない。

(2) 空港から市内への移動

空港から市内への移動は空港タクシーを利用する。空港の到着ロビーにタクシー窓口があるので、ここで行き先を告げチケットを購入する。所要時間は、曜日・時間帯により異なるが、40分～1時間である。市内であれば4万ルピア。高速料(1500ルピア)は別途運転手に支払う。追加料金、チップは必要ない。

(3) 自家用車を利用する場合

在留日本人の多くは自家用車を持っている。自分で運転する人もいるが、たいていは運転手を雇用している。車両台数は年々増える傾向にあり、幹線道路の渋滞はひどくなるばかりである。

(4) レンタカーなどを利用する場合

長期に借りるのであれば割安である。旅行代理店等を通して長期借り上げ契約をするとトラブルなどを避けられる。旅行代理店の詳細はイエローページ「24. 旅行代理店」を参照。

 Yellow Page

(5) 地図

東ジャワ全土やスラバヤ市内の地図が市内の書店で購入できる。

7-2 交通事故、盗難

(1) 対処方法

現地の人の多くは車両保険に加入していない。したがって、相手に過失がある場合でも補償は得られないため、必ず保険に加入しておくこと。日本人側に過失がある時は、現地の人が事故を起こした時の数倍の賠償金を支払うことになる。

事故発生時の対応は運転手に任せ、車外には出ないこと。人身事故の場合はすぐに病院に運び、家族へ連絡すること。

車両保険は、前述の日系保険会社を利用する人が多い。

(2) 救急病院

前述の総合病院を参照。

(3) 車両の盗難、車上荒らし

市内には管理人のいる駐車場が多数ある。しかし、そのようなところでもエンブレムが盗まれたり、駐車中にタイヤをパンクさせられ、その修理中に車中のものを盗まれることがある。ドアロックは必ずすること。また、修理は路上等を避け、ホテルや警官のいるところであるとよい。

また近年パンク強盗が増加しており、赤信号等での停車時に後輪をパンクさせられ、路肩で修理中に車内の貴重品を盗まれる被害が多発している。パンクした

場合は、無理をしてでもその場に止まらずホテルや警官のいる安全な場所を選んでタイヤ交換を行う。この場合でも、車内の貴重品は必ず手に持ち、周りに注意を払う。

7-3 交通違反

(1) 交通法規

車両は左側通行である。赤信号でも左折できる場所があるので注意すること。車両には救急箱(部品店などで売っている)と三角形の事故標識板を備えることが義務づけられている。日本の交通法規を守っていれば特に違反することはないため、運転は慎重に行う。

(2) 罰金、罰則

警官に車を止められ、罰金などを要求された場合は違反理由を明確にする。よく袖の下(2万ルピア前後、外国人だと5万ルピアを請求する悪徳警官もいる)で解決しようとするが、本当に違反をしているのであれば、法令に沿って免許証を没収され、後日指定の警察署で正規の手続きで罰金を払うことが原則である。運転手がいれば対応を任せたいほうがよい。

7-4 車の修理

(1) 部品

自動車メーカーの正規修理工場があり、純正部品を入手できる。また、市内各所にベンケルと呼ばれる民間の修理工場も多数あり、基本的な部品は入手できる。

(2) 修理工場

自動車メーカーの正規修理工場や民間修理工場(ベンケル)が市内各所にある。正規修理工場はある一定の技術を保証しているが、工賃が高額である。民間修理工場でも外国人が多く使うところは技術レベルも高く、正規修理工場よりも安価である。運転手や在留日本人から情報を得ることを勧める。

8. 通信



8-1 電話

(1) 一般事情

電話事情は非常によい。近年携帯電話の普及がめざましく、公衆電話等の数が減っている。しかし、インドネシアの一般家庭ではまだまだ電話は普及しておらず、Wartel(私設電話営業所)等の電話を利用している。Wartelは電話局と同じ料金で24時間営業しており、各地域に設置されている。

地域によっては電話の新規申し込みから加入まで時間がかかるため、すでに電話が使える住宅を探すこと。故障は減少しているが、故障した場合は家主を通じて(または直接)電話局に修理を依頼する。

電話料金は、毎月15日前後に請求書が送付されるので、20日までに指定さ

れた窓口で支払う。また、請求書の送付が遅れることもあるので、20 日前までに請求書が来ない場合は直接窓口で料金を確認して支払う。支払いが遅れると、予告なしに発信できなくなってしまう。1 カ月間は発信のみ不可で受信は可能であるが、それ以降は受信も止められる。

(2) 国内電話

市内通話は安価であるが、市外通話はかなり高い。ジャワ島内であれば通話に支障はない。

(3) 国際電話

管轄の電話局により、直通で国際発信できる電話とできない電話があり、住居を借りる時は国際発信が可能か確認し、不可の場合は交渉すること。最近は、IP 電話等も普及しつつあるが、地域によっては通話状況はあまりよいとはいえないところもある。

(4) 携帯電話

携帯電話はかなり普及しており、在留日本人はほぼ全員持っているといっても過言ではない。日本とは形式が違うため日本の携帯は使用できない。

加入方法は、市内各所にある携帯電話販売店で代行してくれる。プリペイド方式と月払い方式の 2 形態がある。最近ではカメラ付き携帯電話も販売されており、価格はメーカーや機種によるが、60 万～500 万ルピアと幅がある。

8-2 電信

(1) ファクシミリ

日本人家庭での普及率は高い。家主に設置交渉をするとよい。料金は通話料と同じである。

(2) テレックス

テレックス・サービスは行っていない。

(3) 電報

中央郵便局(電話 :031-4205703)、Wartel などで 24 時間受けつけている。日本へは 1 語(10 字以内)につき 520 ルピアで最低 7 文字からである。1 通につき手数料が 350 ルピアかかる。

(4) インターネット

市内にはインターネットカフェも多く、一般に普及しつつある。プロバイダーも 10 社以上ある。主なプロバイダーは以下のとおり(詳細はイエローページを参照)。



- ・P.T. Solusi Lintae Data Indointernet (インドネット)
- ・P.T. Centrin Online TBK (センチュリンネット)
- ・P.T. Indosat M2 (インドサット)

8-3 郵便

(1) 一般事情

普通郵便、速達、特別速達は最寄りの郵便局で、小包や海外への書留は中央

郵便局で出す。普通郵便は自宅などの送付先に直接届けてくれるが、書留便と小包の受け取りは、届いた到着通知を持って中央郵便局へ行く。その際、身分を証明するもの(パスポートのコピー、運転免許証など)が必要である。代理人が受け取る場合は到着通知書の委任欄に記入、署名すること。

近年、郵便事情は飛躍的に改善されたが、紛失などがまれにあるため、日本から小包を送った場合は送り状番号を確認し頻繁に問い合わせる。

・Kantor Pos Pusat Giro Besar Klas(中央郵便局)

所在地 :Jl. Kebun Rojo 10

電話 :031-3522097~8

受付時間 :8:00~18:00

航空郵便は、東京、スラバヤのどちらから出しても1週間~10日で届く。小包は、どちらから送る場合も書留(EMS)にしたほうが安全である。日本から送った小包が未着の場合、日本の書留受付書のコピーがあれば現地の郵便局で調べてくれる。

現地から外国へ小包を発送する場合は、中央郵便局に持参する。受け付ける前に内容のチェックがあるので完封しないで持っていくこと。検査後、郵便局で包装してくれる(有料)。

日本から大切な小包や書簡を送る場合は、普通郵便よりEMS便を利用したほうが安全で早い。また、家まで届けてくれる。普通郵便の場合は、通常の書簡以外は中央郵便局まで受け取りに行く必要があり、なかを調べられたり高価なものを盗まれる可能性もある。

現地から発送する場合は、国内・国際とも郵便物の延着・未着があるため、重要書類などはDHLやOCSなどの民間クーリエを利用すると確実である。

(2)課税

新品、高価なもの、多数の同種類のもの、ビデオテープなどが入っていると、郵便局から出頭命令が来ることがある。課税対象、免税範囲、課税額は各担当者の判断により異なるようである。一般に、5000円以上のギフト、化粧品、靴、玩具などには、日本から送る時に表示した物品価格に対して100%課税されるという。法外な金額を請求された場合は税率表の提示を求め、個々の物品について適正な税額かどうか調べるのも方法である。

(3)国際宅配サービス

主な国際宅配サービス会社は以下のとおり。



・DHL ・OCS

9. コンピューター



9-1 ハード、ソフト

(1)調達の方法

コンピューターは市中のショップで購入できる。OSが英語仕様なので、日本語OSに変える必要があるが、購入店で変更可能か確認が必要である。日本より

は割安である。ソフトも豊富であるがすべて英語版であり、日本語版は取り寄せになるため割高となる。

できれば日本からノートパソコンを持参したほうが何かと便利である。プリンターは現地でも安価で購入できるので持参の必要はない。CD、DVDが一般的で、MOは普及していない。

(2) 使用の際の注意

停電および電圧変動(±10%)が多いため、コンピューター関連の機器を使用する場合は AVR(Automatic Voltage Regulator)を使用するのが安全である。また、100V 出力のものは少ないので、日本で Universal Adaptor を購入して持参するとよい。

ウイルス対策は、必要不可欠である。ソフトは現地で購入可能。また、一般のパソコンショップでも海賊版ソフトを堂々と販売しているが、国内法、国際法上違法であるため絶対に使用してはならない。

(3) 修理

現地で調達したものは修理可能であるが、日本から持ってきたものは、ものにより修理が不可能な場合があり、日本へ送って修理を行う。

10. 職場環境、勤務条件



10-1 職場環境、勤務条件

(1) 就業時間

赴任先にもよるが、政府系の事務所は一般的に 8:00~16:00、週休 2 日制である。断食期間中は終業時間が 1 時間繰り上がる。昼休みは 12:00~13:00 が一般的。残業は必要に応じて行うが、一般職は早く帰り、上のクラスほど残業を行う。

(2) 有給休暇

政府機関であれば、有給休暇は年間 12 日であるが、忌引き、結婚、病気など、有給休暇以外の休暇制度が多くあり、実数はわからない。

(3) 執務室

赴任先により異なり、大部屋、個室、パーテーションと種々あるが、物品管理、安全等の観点から個室の提供を申し入れる。また、電話、FAX 等も直通がない場合があるので、職場環境については赴任機関とよく話し合い、充実させていく。こちらが何も言わなければ何もしてくれないこともあるので、希望は常識の範囲内で申し入れる。

(4) 通勤事情

一般的には自家用車で通勤する。赴任先によっては近くに昼食をとる場所がない場合もあるため、車で食事に出かけたり弁当を持参する専門家もいる。

11. 出入国手続き



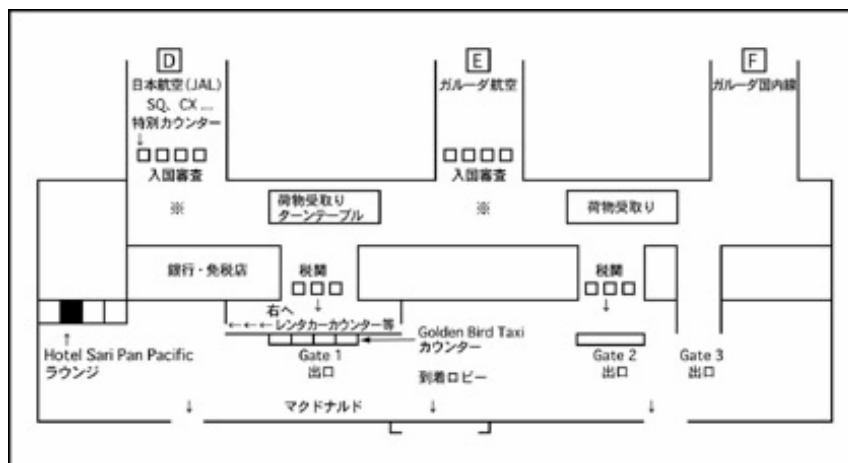
11-1 入国

(1) 空港施設概要

<スカルノ・ハッタ(ジャカルタ)国際空港>

スカルノ・ハッタ(ジャカルタ)国際空港は、到着ロビーが 1 階、出発ロビーが 2 階と分かれています。一般車両はすべて、1、2 階で乗降のみを行い、駐車は 1 階の有料駐車場を利用する。タクシーを利用する場合は、ゲートを出たところにある GoldenBird (Silver Bird) カウンターで申し込む。

スカルノ・ハッタ国際空港(1 階到着ロビー)



<ジュアンダ(スラバヤ)空港>

出口は 1 カ所のみ。シンガポールや香港などから直接スラバヤに入国する場合は、入国審査のあとに税関検査があり、そのまま出口へと向かう。

(2) 入国手続き書類

出入国カードに必要事項を記入する。出入国カードの左部分 (Departure Card) は出国の際に必要なので、必ず確認してパスポートとともに保管すること。

税関申告書は、持ち込む品物が免税範囲を超えない場合でも税関への提出が義務づけられている。

(3) 入国審査

入国手続きは簡単で、検疫、入国審査の順に進み入国となる。

<検疫>

アフリカからの入国については、検疫で手続きを受けること。

日本から直接でも他国経由でも、乗り換えのみで入国する場合は不要。

<入国審査>

入国審査ではパスポートと入国カードを審査官に提出し、滞在日数などの簡単な質問に答える。観光目的の場合、到着地の空港でビザの発給を受ける、3 日間(到着日・出発日を含む)の滞在ビザで 10 米ドル、30 日間(同)の滞在ビザで 25 米ドルを支払う。国内 7 空港(ジャカルタ、バリ、メダン、スラバヤなど)と十数港で発給する。JICA 関係者の家族などの私的な訪問の際には、到着時にビザ

取得が必要となるので注意が必要である。

公用旅券の場合は、日本で公用ビザ(60 日有効)を取得済みであるため支払いは不要である。最近、これを無視して到着ビザを取得するように強要する係官が散見されるため、公用ビザを取得済みであると強く主張する。

(4) 税関検査

基本的に新品の電気製品、ゴルフ道具等は厳しく査定されるが、中古品であれば日本で自己使用していた旨を告げれば無税で通関できる。空港の税関検査は税関吏にもよるが一般的に厳しい。

特定の外交官を除き、税関内の立ち入りは許可されていないので注意すること。

(5) 空港内での留意点

スリ、置き引きなどが発生しているので各自で注意すること。

(6) 空港からの主な交通手段

特に出迎えがなくタクシーを利用する場合は、白タクなどを利用せず、タクシー乗り場から乗車すること。空港タクシーは専用のチケット売り場があるので、そこで行き先を伝えて料金を払いチケットをもらう。タクシー乗り場で係員にチケットを渡し、指定されたタクシーに乗る。

(7) その他の留意点

荷物受取所の手前に銀行があるので、当座の費用(50 米ドル程度)を両替しておくとお便利である。また、ATM からも日本のカードで現地通貨で引き出せるが、銀行等によってそれぞれ換金率が異なるので注意すること。ホテルでも換金可能である。

11-2 出国

(1) 出国時の概要

手続きは日本出国時と同様で、出国カード(チェックインカウンターにある)に記入して出国審査を受け、搭乗となる。

(2) リコンファーム

日本で発券された日本航空の航空券はリコンファームの必要はないが、その他の航空会社は 72 時間前に行う。主な航空会社は以下のとおり。

- ・ガルーダ航空(電話 :021-23519999)
- ・シンガポール航空(電話 :021-57903747)

(3) チェックイン

スーツケースは必ず施錠し、貴重品はなかに入れない。

(4) 空港利用税

出国時の空港利用料は国際線 10 万ルピア、国内線 1 万 5000 ルピアである。一般旅券の長期滞在者は、フィシカルという出国税 100 万ルピアが別途加算される(2004 年 8 月現在)。

(5) その他の留意点

長期専門家の場合は1年更新の滞在許可および再入国ビザを取得しているが、任期中の出入国には、この滞在許可とビザの有効期間内であることが必要である。失効前に延長手続きをすること。また任期を終えて帰国する際は、別途出国ビザが必要となるので注意すること。

11-3 帰国手続き

(1) 帰国時に必要な事務手続き

必ず出国ビザを取得し帰国すること。

(2) 車の処分

帰国前までに売却すること。

保険会社などで車両の市場価格を調べてもらい、そこから買い手が支払う税額を差し引いたくらいの額を設定する。経済危機によるルピア安で、車の値段もドルに換算すればかなり下落している。手続きは購入者に任せる。

(3) 家財道具の処分

日本人クラブや近くのスーパーなどに売却希望のポスターを掲示させてもらい、引き取り手を探す。書籍や衣類などは日本人クラブに寄贈してもよい。

(4) 住宅の明け渡し

帰国の1、2日前には引き払い、ホテルへ移動するとよい。

(5) 外貨持ち出し規制

日本円、米ドルなどの持ち出しについては、特に制限はない。インドネシアルピアの持ち出し、および持ち込みについては、1000万ルピア以内であれば中央銀行への報告は必要ない。

銀行口座を閉じる時に大量の外貨がある場合は、日本の口座に外国送金すると便利である。また、安全上も大量の現金を持ち歩くことは勧められない。

**12. 治安、
緊急時の心得**

※生命・財産に直結することでもあり、治安・安全情報に関しては、各自の責任において最新かつ正確な情報を入手してください。

12-1 暴動、クーデターなど

(1) 一般事情

1997年の経済危機、1998年のスハルト退陣の混乱により、物価の急上昇による社会不安などで、インドネシアの危険度は最高レベルに達したが、近年、国内経済が順調に推移するにつれ平穏を取り戻しつつある。また、民主化に伴い各地で学生デモや労働者のデモが頻発しているものの、暴力的なデモに発展することは少ない。

(2) 対処法

在スラバヤ日本国総領事館および東ジャワ日本人会の緊急連絡網により各企業および個人に緊急連絡を行う体制が確立されている。

12-2 強盗、盗難

(1) 一般的治安状況

一般犯罪としては盗難、スリ、パンク強盗等が報告されているので、用心と注意を怠らないことが肝心である。最近、銀行を出てすぐナイフや銃による強盗に遭うケースが数例報告されている。一度に大金を両替しないことはもとより、強盗に遭った場合はすぐにお金を渡すなどして、絶対に抵抗しない。

(2) 住宅の防犯対策

住宅を選定する際、外から侵入しにくい造りか、窓に鉄格子があるかを確認する。仮に鉄格子がなくても家主との交渉でつけることは可能である。日ごろから門扉は必ず施錠し、不審者はもちろんのこと、使用人の親類、友人も許可なく敷地内に入れないよう徹底する。一軒家の場合、番犬を飼うことはイスラム教徒の多いインドネシアでは有効な防犯手段の1つである。

賊への見せ金として100万～300万ルピアをすぐ出せるように用意しておくのも身を守る方法である。また、高価なものには保険をかけておくのが賢明である。

(3) 市中での防犯対策

華美な服装、宝飾品をつけてショッピングモール等で買い物をすると目立つばかりか狙われるので、普段着で目立たない行動をとる。また、常に周りに注意を払い、すきを見せない。

夜間は幹線道路を通行し、人通りの少ないところは避ける。

(4) 注意すべき場所、危険地域

空港周辺ではパンク強盗が頻発している。携帯電話スリ事件が報告されているが、これといった危険地帯はない。

(5) 被害時の心得

万一家屋に侵入された場合や事件に遭遇した場合は、むやみに抵抗しない。特に家屋に侵入された場合は相手の顔を見たりしない。被害に遭った場合は総領事館の日本人保護担当領事に報告し、警察への通報などについて指示を仰ぐ。

保険をかけているものを盗まれた場合は、現状のまま警察、保険会社へ連絡し、警察から盗難証明書をもらう。この証明書を保険会社に提出すればよい。

12-3 火災、風水害、地震

(1) 一般的災害発生状況

火災、地震はほとんどない。地域により、雨季に浸水・雨漏りが見られる。

(2) 防災対策

比較的新しい公共の建物、ホテルなどには警報装置やスプリンクラーが備えられている。防災対策について、公共機関や地域からの指導はないので、自分で対処するように心がけること。

緊急時に備えて常に身辺整理を心がけ、迅速に行動できるようにしておくこと。

食料、ミネラルウォーター、ガスなどの備蓄を心がけること。また、自家用車のガソリンを常に半分以上確保しておくことも必要である。

(3)被災時の心得

デマなどに惑わされることなく、安全を確保しつつホテル等に移動する。

12-4 緊急連絡先電話番号

- ・日本大使館 :021-31924308
- ・スラバヤ日本国総領事館 :031-5030008
- ・警察 :110
- ・消防 :113
- ・救急車 :119

13. 社交



13-1 風俗習慣

イスラム教徒が多いため、豚肉、酒は禁忌であるが、非イスラムの人々は特に気にしない。また、宗教的な場所への立ち入りの際のサンダル履き、短パン、女性のノースリーブ等は控えたほうがよい。また、子供の頭をなでることは侮辱の意味になるので注意。左手は不浄とされ、物の受け渡しなどでは右手のみを使う。

平常は握手であいさつするが、少し改まった時には、双方が合掌したまま手を触れ合ってあいさつを交わす。そのほか、女性は左右のほおを交互に接触させて親愛の情を示す。

屋内、特に絨毯の上では履物を脱ぐ家もあるので入口で確かめるとよい。

13-2 パーティーでの留意点

冠婚葬祭やパーティーは、自宅やパーティー会場へ招かれ、立食式の食事が供される。イスラム教は飲酒を禁じているため、酒類のもてなしはまずない。

13-3 来客時の留意点

家に大勢の人を招く場合は、出前・出張のペスタ(パーティー)業者およびホテルのケータリングサービスを利用できる。頼めばテーブル、イス、食器などすべて持参し、給仕もしてくれる。中国料理・日本料理のレストランなどでも受け付けている。

夜に 10 人以上の会合をする時は、正式には集合届(Ijin Pertemuan)を隣組へ出さなくてはならない。場合によっては警察許可が必要なこともある。いずれも、許可証発行のため料金を請求される。外国人の多い居住地域では規則が緩いが、初めての時に必ず確かめること。

イスラム教徒は豚肉を食べないので、食事に誘ったり、パーティーに招く時には、豚肉を避けること。交際は夫婦単位が多い。夕刻に人を招く時は、祈りの時間

(18:00~19:00 ごろ)をはずすこと。

13-4 訪問時の留意点

インドネシアの人は午睡をする習慣があるので、14:00~16:30 は家庭への訪問を避けること。また、相手が敬虔なイスラム教徒の場合は夕刻の祈りの時間を考慮すること。特に手土産を持っていく必要はないが、家庭で作ったクッキーなど簡単なものを渡すと喜ばれる。

13-5 禁止されている言動（タブー）

左手は不浄とされているため、物の受け渡しには必ず右手を用いること。右手に何か持っている場合でも左に持ち替えて右手で渡す。やむを得ず左手でなければできないことが起きた時には、一声謝っている。

イスラム教徒は酒を飲まない。また、イスラム教徒でない人も、あまり飲まない。そのため、酔っぱらいは極端に嫌われ、大きな声を出したり、騒いだりすることは軽蔑されている。また、政治や、宗教の話は極力避ける。

日本人は戦時中の歴史を鑑み、不用意な言葉は慎むこと。

13-6 日本人会

 Yellow Page

スラバヤには東ジャワ日本人会(会員約 800 名)があり、独自の事務所も持っている(詳細はイエローページを参照)。事務所には図書室、ビデオ室、会議室などがあり、図書、ビデオ等は貸し出しもする。

スラバヤでの生活に役立つ「スラバヤガイド」を購入すると、各種情報が手に入る。

13-7 JICA帰国研修員同窓会

帰国研修員の同窓会はあるが、活動はあまり活発ではない。日本留学生同窓会は活発に活動している。

13-8 現地の人々との交流

職場の同僚など現地の友人を積極的に作り交流の輪を広げる努力をすることは、スラバヤ生活を有意義なものにするばかりではなく、各種情報が得られるため有益である。積極的に現地の人々と交流を進め、文化、習慣等に触れるためにもインドネシア語の習得に励むことを勧める。

14. 教育



14-1 教育事情

(1) 一般事情

日本人学校には幼稚部、小学部、中学部がある。また、インターナショナル・スクールには幼稚部、小学部、中学部、高校があり、施設もよく充実している。

(2) 日本人学校



スラバヤ日本人学校(SJS)は、幼稚部、小学部、中学部があり、日本国内の公立小・中学校と同様に授業が行われている(詳細はイエローページを参照)。文部省で定められている教科のほか、小学校 1 年生からインドネシア語、インドネシア地理・歴史、英会話の授業を取り入れ、異文化理解を積極的に進めている。3 学期制で新学期は 4 月から始まる。スクールバス、給食はない。休校日は日本およびインドネシアの休日である。

小学部は「ピアノカ」、小学 3 年生以上は習字道具、そろばんを用意すること。中学生用の英和辞典、国語辞典なども持参すること。

運動靴、定規、コンパス、筆記用具など学用品は現地でも購入できるが、現在使用しているものを持参するとよい。日本でいうスクール水着は売っていない(ふつうの色の水着はある)。

子女の教育については、海外子女教育振興財団に問い合わせるとよい。

<海外子女教育振興財団>

URL : <http://www.joes.or.jp>

E-mail : service@joes.or.jp

・東京

所在地 : 〒105-0002 東京都港区愛宕 1-3-4 愛宕東洋ビル 6 階

電話 : 03-4330-1349 FAX : 03-4330-1355

・関西分室

所在地 : 〒530-0001 大阪府大阪市北区梅田 1-3-1-200

大阪駅前第一ビル 2 階

電話 : 06-6344-4318 FAX : 06-6344-4328

(3) 現地校、外国人学校

外国人学校として以下のものがある。



・Surabaya International School(SIS)

(4) 幼稚園

イエローページ「22.教育機関」を参照。

14-2 教育関係施設

(1) 図書館など

日本人学校には児童用の図書室があり、童話などを揃えている。また、日本人会事務局にも図書室があり、小説や児童書等の貸し出しを行っている。

15. 家庭の使用人**15-1 一般事情**

日本とは大きく異なり、インドネシアで快適で健康な生活を送るには使用人の手助けが不可欠である。広い邸宅、生活様式の変化、交通機関、治安などの事情から、通常、運転手、家政婦、夜警などを雇用する。また、必要に応じて子守、

庭師を雇用する場合もある。

使用人との生活は、総中流意識、平等主義、民主主義のなかで育った日本人には戸惑うことが多く、生活習慣の違い、意思疎通の不自由さも加わって、特に主婦の悩みの種になりがちである。使用人とのよい関係づくりが安定した生活の鍵になるため、精神文化の違い、習慣の違い、教育レベルの違いを受け止め、根気よく指導し、きちんとした管理方針を打ち出し、けじめある態度で接することが望ましい。

<求人・採用>

先任者や帰国日本人からの紹介が一般的だが、ハウス・エージェント、家主への依頼、ミニコミ紙、店頭に掲示板より情報を得る方法もある。また、口コミによる飛び込みも多く、求人には困らない。いずれの場合も面接を行い、住民票(KTP)、運転手は SIM(運転免許証)、紹介状などの提示を求め、学歴、出身地での家族構成・状況、スラバヤでの親戚の有無、職歴などを尋ねながら、態度、清潔感の有無、気質などを観察する。気に入った人がいれば、給金、休日、仕事内容、働く上での大まかな注意事項などを話す。

<暫定雇用>

本採用の前に、チョバ(Coba)と呼ばれる 1~3 カ月の試用期間を設けるのが一般的である。その間に人柄や働きぶりを見て、不適當な場合は日割の給金のみ(または多少の心づけを添える)で解雇できる。チョバの間は給金を低めに設定し、本採用で多少上げるのがふつうである。

<待遇>

1998 年度の経済危機で各使用人の給与に大きく差が出ており、給与額の相場はわかりにくい。給金や支給の方法、休日は各職種によって異なり、また各家庭によってもばらつきがある。一般的に、欧米人を雇用する場合は給金・休日ともに優遇し、インドネシア人は驚くほど低い賃金で雇用している。JICA 関係者の場合は通常 1~3 年の短期間の雇用であるため、長期(5~20 年)に滞在している人たちよりも高い給与を支払うのが当然であろう。また、使用人はほかの家庭の使用人と情報交換するのが常で、その意味で同プロジェクト、同組織のなかでは待遇が揃っているほうがよい。ただし、各人の能力、経験の長さ、その他諸事情によって異なってくるのは当然であるため、まずは先任者や身近な人に相談するのが無難である。

断食明けの大祭(Lebaran)は日本の正月に値するもので、多くの人が帰省を心待ちにしている。地方出身者なら 1 週間前後の休暇を与え、特別手当、時には衣類、菓子なども支給するのが風習である。手当の額、休暇の長さは勤務期間によっても違うので、身近な人に相談するのがよい。

<医療費>

使用人にとって医療費・薬代は負担が重いため、領収証に基づいて雇い主が払うことが多い。一般的な疾患は Puskesmas(フスクスマス:各地域にあり、簡単な診療を受けられ、薬を処方してもらえる)と呼ばれるパブリック・ヘルスセンタ

一で、重症の場合は総合病院で診てもらおうとよい。

使用人は、解雇や費用の負担を恐れて、自ら進んで病気を訴えることは少ない。したがって、雇用主側が彼らの健康状態に気を配ることが大切である。ひどくならないうちに治療させ、長引いたり回復しないなど、やむを得ない場合は心づけを与えて解雇する。

<借金>

借金の申し込みはよくあることのひとつで、初めに態度をはっきり決めておかないと次々に申し込んでくる。応じても給料 1 カ月分から退職金の範囲にとどめておくのが双方のためによく、返済は給料から差し引く形で早く済ませるようにする。きちんと借用証書を取り、返済期日、返済方法なども明文化しておくほうが面倒が少ない。

<退職金>

本採用後に解雇する場合は退職金を支給し、金額は勤務期間を考慮して決める。使用人側の都合で辞める場合は、原則的に退職金支給の義務はない。しかし、トラブルを防ぐためにも、多少の心づけを用意するのが賢明である。退職金の額は(勤務年数×1カ月の基本給)が一般的である。

<その他>

使用人が敬虔なイスラム教徒の場合は、金曜日の午後にモスクにお祈りに行くことを希望する。その場合は時間を決めて許可するのが一般的である。

15-2 運転手

(1)雇用

紹介ではなく、直接職を求めてくる人については、より慎重な対応が必要である。ほとんどの運転手はインドネシア語のみを話す。面接の上、住み込みか通いか、業務内容などを取り決めてチョバ期間を経て本採用する。

月給は超過勤務を含めて 100 万ルピアが目安である。支給方法は、a) 給料に食費、日当、交通費を含めて支払う、b) 給料に食費、日当、交通費を別立てで支払う、のいずれかが一般的である。

超過勤務、休日出勤、スラバヤ市外に出る場合、宿泊を伴う遠出等の場合、医療費など、諸手当を細かく取り決めておく。トラブルを防ぐためにも契約書を交わすのがよい。そのほかは「15-1 一般事情」を参照のこと。

(2)日常管理

「(4)その他の留意点」を参照。

(3)教育指導

アンクタン・コタ(乗り合い小型乗用車「コルト」)に始まり、オートバイ、一般車に至るまで運転マナーが悪く、日本とは事情が著しく異なる。したがって運転手も無理な追い越し、信号無視、割り込み、急ブレーキ、スピードの出しすぎには無頓着で、同乗者の乗り心地を考えた安全運転とはいえない。日本では常識と思われる事柄でも、ひとつひとつ丁寧に指導するなど、安全運転教育が重要である。

採用当初に、日常のあいさつ、ドアの開け閉め、駐車中も車から遠く離れないことなど、雇用者側の希望をきっちり伝えておくこと。勤務終了後の車の鍵の保管、車の保守点検、洗車、車庫の清掃なども雇用時に義務づけること。

(4) その他の留意点

ガソリンを入れる時は、雇い主が同乗して支払う。ガソリン補給量や走行距離のチェックをし、オイル交換、修理などを全面的に任せてしまわないこと。

15-3 家政婦／夫

(1) 仕事の種類と人数

日本人家庭では、家政婦 2 人を住み込みで雇用するのが一般的である。幼児が複数いる場合は子守を雇用することもある。また、敷き地が広い場合はボーイ（庭師とは別）を雇用する。料理をする者をコキと呼び、掃除、洗濯、アイロンがけをする人をチュチという。コキのほうが階級が上である。

(2) 雇用

運転手と同じくチョバを経て本採用する。できれば紹介による人が望ましい。または、コキに同郷からチュチ、ボーイを連れてこさせると、使用人間のいさかきも少ないようである。

使用人部屋、ベッド、タンス、料理用石油コンロ、食器、鍋などの台所用品、洗濯用品、物干し場などを用意する必要がある。

通常の休日は月 1～4 回で、朝の片づけが済んでから 17:00 まで自由時間となる。また、近隣に家族が住んでいる者には外泊を許す。

日本の正月や盆にあたる断食明けには、勤続 1 年以上の人には月給 1 カ月分をボーナスとして支給し、衣服と往復の交通費を与えて帰省させるのが慣例である。

配偶者・親兄弟の病気、死亡、または結婚式などの理由で休暇をとることがある。急に休暇を申し出た場合は退職の可能性もあるため、場合によっては帰る時の荷物などに留意しなければならない。

給与と食費の支給は、a) 給料に食費分を含めて支払う、b) 給料とともに米、油、調味料など現物を支給する、c) 給料とともに食費分を別立てで支払う、などの方法がある。また、1 カ月に 1 回支給、週ごとに分割など、さまざまなケースがあるので、採用時に協議して決めておくこと。

夜間の来客時や休日に仕事をした時など、決められた時間や業務以外で働いてもらった時は、少額でよいのでこまめにチップを渡し、労をねぎらう。

給与額は各人の能力、年齢、経験、人数、家族構成などによって異なるが、コキは 40 万～60 万ルピア、チュチは 25 万～40 万ルピア（いずれも食費・現物支給を含めた額）が一般的である。そのほかは「16-1 一般事情」を参照のこと。

(3) 日常管理

外国人や日本人の家庭で働いていた人の場合はあまり問題はないが、地方から出てきて間もない人の場合は、衛生観念がかなり違うことに留意しなければな

らない。

初めて仕事をする人には、手の洗い方、ぞうきん・ふきん・手ぬぐいの区別、ゆすぎ方・絞り方、床のふき方、どこで洗ってどこへ干すか、掃除の方法（掃いたらゴミはちりとりで取るなど）、台所の包丁は料理以外には使わないこと、水道栓はきちんと閉めるなど、基本的なことから細かく指導したほうがよい。

家人と使用人の物の区別も大切で、台所用品、食器、洗濯道具、アイロンなどに至るまで混同して使わせてはならない。やむを得ない場合は事前に断る習慣をつけること。家族の所持品が使用人の部屋にあった時は、細かな物でも見逃したりうやむやにしないほうがよい。

休日の帰宅時間などは厳守させる。無断外泊、風紀を乱す行為、家人の物の持ち出しなど、規律を守らない場合は解雇の可能性もあることを初めに伝えておくこと。決まり事を明確にしておくことが長い雇用関係には大切である。

また、いたわりの気持ちが大切で、親身になって教える・聞く・相談にのることが肝要である。病気、けが、金銭問題などで困っている場合には限度を超えない範囲で助けること。また、ラジオを支給するなどして、快適で楽しく働いてもらえる環境をつくることも必要である。

長い間忠実に働いた人に、男性には車の運転、女性には裁縫、料理など、将来のためになるような技術を習得させる家庭もある。

15-4 庭師、ガードマンなど

広い庭園がある場合は専任の庭師が必要であるが、さして広くない場合は週何回という契約で依頼することが多い。またはボーイで用が足りる。

警備は、a) 昼間と夜間にそれぞれガードマンを依頼する、b) 夜間のみ依頼する、c) 住み込みで雇用する、d) 地区単位で雇用し、費用は町会費に含まれる、など雇用形態はさまざまであるが、方法により近辺の環境にも大きく影響する。ガードマンの雇用については賛否両論であり、雇用したからといって安心はできず、まったく無益であるという人もいる。しかし、スラバヤ在住の日本人の間では盗難の被害に遭うのはガードマンのいない住宅のほうが多いといわれている。

給与は家政婦などと同様に、食費、交通費を含める方法、別立てにする方法がある。いずれにせよ、安全のためにも、使用人との人間関係を円滑にすることが大切である（盗難の多くは使用人の手引きによるものであるといわれている）。

16. メディア



16-1 新聞、雑誌

(1) 現地発行の日刊紙

日刊紙には、以下のものがある。購読申込先は各地区にあり、使用人に聞けばその地域の配達人とコンタクトをとってくれる。また、街頭、スーパー、書店などでも販売している。

・「KOMPAS」(インドネシア語、全国版)

購読料 : 1 カ月 8 万 4000 ルピア、1 部 1200 ルピア

・「Jawa Pos」(インドネシア語、東ジャワの地方紙)

購読料 : 1 カ月 4 万 5000 ルピア、1 部 1100 ルピア

・「The Jakarta Post」(英語)

購読料 : 1 カ月 8 万 4000 ルピア

日本語のローカル紙として、次のものがある。

・「ジャカルタ新聞」

購読料 : 27 万ルピア(1 カ月)、75 万ルピア(3 カ月)、140 万ルピア(6 カ月)、
260 万ルピア(1 年)

問い合わせ先 : 021-2303830

(2) 日本の日刊紙

シンガポールで印刷された衛星版の朝日新聞、日経新聞、読売新聞がある。ジャカルタにある OCS に依頼すると、同日中(午後以降)に宅配してくれる。購読契約は1カ月からであるが、購読料は3カ月分を前払いするのが一般的である。

・P.T. OCS Indonesia

所在地 : Skyline Bldg. 11F, Jl. M.H. Thamrin 9, Jakarta

電話 : 031-326704/337819

購読料 : 1 カ月約 80 万ルピア+10%tax(新聞の種類による)

(3) 欧米紙／誌

「ニューズウイーク」「タイム」など数種類の欧米誌が書店、スーパー、ホテルなどで販売されている。

(4) 日本の雑誌、書籍

スラバヤには日本の雑誌や書籍を購入できる書店はない。OCS で取り寄せたり、ジャカルタにある日系の紀伊国屋書店(URL : <http://www.kinokuniya.co.jp>)、丸善(電話 : 021-7268333)で購入する。

16-2 ラジオ

(1) ラジオ放送局

AM、FM 局とも豊富で、音楽番組、ニュース、宗教関連までバラエティーに富んでいる。

(2) NHK ワールド・ラジオ日本(ラジオジャパン)

英語放送と日本語放送が1時間おきにあり、7:00 からは日本語のニュースがある。午前中と15:00の放送は受信状態はよいが、夜間は雑音が入り、聴きとりにくい。NHK から周期的に情報が入る。

<ラジオジャパン問い合わせ先>

NHK 国際放送局国際編成部

所在地 : 〒150-8001 東京都渋谷区神南 2-2-1

電話 : 海外から : +81-3-3465-1111(平日/日本時間 10:00~19:00)

日本国内から :0570-066066 (NHK 視聴者コールセンター／24 時間受付)

E-mail :nhkworld@nhk.jp

<周波数表、番組表>

URL :http://www.nhk.or.jp/nhkworld/japanese/radioguide_j.html

(周波数表、番組表確認)

FAX :+81-3-5454-0888 情報番号 260

(日本語放送の周波数表・番組表 FAX サービス)

郵送 :上記 NHK 国際放送局企画編成部に請求する。(無料)

(3)聴取可能なその他の外国放送

VOA、BBC、ラジオ・オーストラリアの日本語放送がよい状態で受信できる。

16-3 テレビ

(1)地上波放送局

国営放送(TVRI)と5つの民営放送局(RCTI、SCTV ほか)があり、放送内容はニュース、教育番組、音楽、歌、踊り、劇映画など幅広い。TVRIでは18:30から英語ニュースを放送している。

(2)衛星放送、ケーブルテレビ

スラバヤ市内ではケーブルテレビが一般的で、NHKをはじめ最大で約60放送局のものを視聴できる。料金は、契約放送局の数によるが、NHKを含め最大で43万ルピア／月である。受信状況はおおむね良好である。

(3)テレビ受信

テレビはケーブルテレビが一般的である。現地はPAL方式であるため、日本から持ち込む場合はマルチ対応のテレビでなければ見ることができない。ビデオ、テレビを家主につけてもらう場合でも、マルチ対応型をつけてもらわなければ日本のビデオを見ることができない。

17. スポーツ、 趣味、 語学学習



 Yellow Page

17-1 スポーツ

(1)ゴルフ

主なゴルフ場として、次のものがある(詳細はイエローページを参照)。

- ・Graha Famili (グラハファミリ)
- ・Citra (チトラ)
- ・Bukit Darmo (ブキット・ダルモ)
- ・Taman Dayu (タマンダユ)
- ・Finna (フィナ)

(2)テニス、フィットネス

テニス、フィットネス、プールは高級アパートに併設されており、居住者は利用できる。5つ星ホテルにもフィットネスがあり、年間会員になれば利用可能。

(3) その他のスポーツ

東ジャワ日本人会には、サッカー、テニス、ダイビング等の同好会があり、活動も活発である。

17-2 趣味

男性は、インドネシアの歌を歌う「ラグラグ会」が日本人会員を中心に活動している。女性は、バリ舞踊、ガムラン(伝統楽器)など各種趣味の会がある。

17-3 語学学習

(1) 語学学習施設

インドネシア語、英語とも日本人会事務局で有料の教室が開かれている。そのほか、民間の語学学校(英語)があり、インドネシア語、英語の家庭教師もいるが、教師の質、授業料等にかかなりの差があるため、在住者に紹介してもらうことを勧める。

(2) 家庭教師

上記参照。

18. 観光



18-1 地方旅行の留意点

インドネシアはバリ島をはじめとした観光資源に恵まれている。また、多民族国家でもあるため、種々の文化・風習、民族性などに触れる国内旅行はお勧めである。日本国内で数多く販売されている各種旅行案内書を数冊持参するとよい。

18-2 主要観光地・保養地

スラバヤから日帰りで行ける主な観光地は以下のとおり。

・Malang(マラン)

所要時間 : 市内から南に約 2 時間。

見所 : 高原都市マランでは、オランダ統治時代の歴史的建築物が多数見られ落ち着いたたたずまいを見せる。町は比較的きれいで、リンゴ園もある。

・Jawa Timur Park(ジャワ・ティムール・パーク)

所要時間 : 市内から車で約 2 時間。

見所 : 遊園地、剥製動物園、プール等があり、子供には人気が高い。遊園地は日本のそれとは違い素朴である。

・Gunung Bromo(プロモ山)

所要時間 : 市内から車で 2 時間強。

見所 : 高さ 2392m の活火山のプロモ山は噴煙をたなびかせている。それを囲む外輪山からの眺めは絶景の一語に尽きる。山裾まで車で行き、そこから馬と徒歩で火口まで行ける。外輪山のビューポイントからの

ご来光も一見の価値あり。寒いので防寒着が必要。

・Pasir Putih (パシール・プティ)

所要時間 : 市内から車で約 3 時間 30 分。

見所 : ダイビングスポット。きれいな珊瑚礁や熱帯魚をグラスボトムボートで観賞できる。

・Taman Safari (タマンサファリ)

所要時間 : 市内から約 1 時間 30 分。

見所 : 日本のサファリパークと同じで車で動物を見て回る。珍しいホワイタイガーが見もの。また、遊園地も併設しており、園内で生まれた動物の赤ちゃんに触れ合い、写真撮影もできる。

18-3 旅行代理店

主な旅行代理店に次のものがある(詳細はイエローページを参照)。

・Haryono Travel (ハルヨノ・トラベル)

・Orient Express (オリエント・エクスプレス)

19. 私財の輸送、 引き取り、購入



19-1 家財道具

(1) 輸送会社

赴任後すぐに必要なものは、できる限り携行荷物として持ち込むのが得策である。

たいていの大型家具は賃貸住宅に備えられているが、ないものは必要に応じて家主に交渉できるので、家具については、あえて日本から運ぶ必要はない。

信用ある会社を選ばなければ引き取りに時間を要することがある。主な会社は以下のとおり(詳細はイエローページを参照)。



・Crown Line (クラウンライン)

・Nittsu Lemo (日通レモ)

(2) 輸入手続き

アナカン、海送荷物の場合は、滞在許可取得との関係もあり、引き取りまでに1、2カ月を見込む必要がある。荷物がインドネシアに到着してから引き取りまでは、海送のほうが空送よりも早い場合がある。

引っ越しについては、輸入手続きなどを個人で行うには言葉や時間などの制約要素が多いため、まず不可能と考え、上記の会社など現地に事務所を持つ日系の会社に任せたほうが安心であり確実である。

(3) 輸入貨物の受け取り港

輸送会社に全面的に任せる。

19-2 自動車

(1) 一般状況

外国からの完成車の輸入は、特別の場合を除き国内産業保護のため許可されていない。

(2) 輸入手続き

上記を参照。

(3) 現地での購入

自動車は、日系、欧米系、韓国系ともにだいたいメーカーは現地で製造しているため、セダン、SUV、小型車など、選択の余地は大きい。

即時に購入が可能で車種の幅が広く、売却も比較的容易である。家族の多い人には「キジャン(トヨタ)」「L-300(三菱)」などが人気である。

(4) 自動車登録

自動車登録は購入先のディーラーが代行してくれる。

(5) 免許証取得

インドネシアは国際免許の協定には参加しておらず、法律上は国際免許は使えないが、慣用的には使用できる。赴任当初は国際免許を使用するが、できるだけ早い時期に現地の免許を取得することを勧める。

インドネシア国民の免許証は 5 年間有効であるが、外国人免許証の有効期間は 1 年間である。免許証の取得は比較的容易であり、地元代理店かインドネシア人の知人に依頼すると、パスポートの写し、居住証明書(居住地の警察発行)、日本の運転免許もしくは国際免許を用意し、サインと写真撮影、指紋採取だけで数時間で取得できる。費用はその手続きの早さに比例し、20 万～30 万ルピア必要である。

(6) 保険、税金



JICA 専門家の多くが車両保険に加入している。スラバヤで日本人によく利用されている保険会社は P.T. Asuransi Mitsui Sumitomo Indonesia(詳細はイエローページ「8. 保険会社」を参照)である。

車検(車両登録の更新)は、1 年に 1 回行うことが義務づけられており、この時に自動車税も納める。外国人が個人でこれら手続きを行うことは言葉の問題から困難であり、通常は運転手などが行う。

20. 地方都市



「18-2 主要観光地・保養地」や『国別生活情報(インドネシア／ジョグジャカルタ)』ほか 4 篇を参照。

イエローページ

※特に記載のない限り、スラバヤの情報を中心に掲載しています。

1. JICA事務所

所在地	Plaza BII Tower II 27th Floor, Jl. M.H. Thamrin No. 51 Jakarta 10350, Indonesia
TEL/FAX	TEL : +62-21-3907533 FAX : +62-21-3907536
URL/E-mail	URL : http://www.jica.go.jp/indonesia/index.html E-mail : jicain@jica.go.jp

2. 日本大使館

所在地	Jl. M.H. Thamrin No.24, Jakarta 10350, Indonesia
TEL/FAX	TEL : 021-31924308 FAX : 021-31925460

3. 在スラバヤ日本国総領事館

所在地	Jl. Sumatera 93, Surabaya
TEL/FAX	TEL : 031-5030008 FAX : 031-5030037

4. 緊急連絡先電話番号

日本大使館	TEL : 021-31924308
在スラバヤ日本国総領事館	TEL : 031-5030008
JICA事務所	TEL : 021-3907533
警察	TEL : 110
消防	TEL : 113
救急	TEL : 119

5. ホテル *宿泊料はスタンダード料金(2004年2月現在)で、サービス料、税金、朝食込み。

<5つ星ホテル>

■Shangri-la (シャングリラ)

Jl. Mayjend Sungkono 120
TEL : 031-5661550 FAX : 031-5661570
料金 : 78米ドル (シングル)、90米ドル (ツイン)
VISA、MasterCard、American Express、Diners Clubなど
日本人常駐、日本食レストラン「西村」がある。

■JW Marriott (マリオット、旧The Westin)

Jl. Embong Malang 85-89
TEL : 031-5458888 FAX : 031-5468888
料金 : 85米ドル (シングル、ツインとも)
VISA、MasterCard、American Express、Diners Clubなど
市内中心部にあり、上層階からの眺めは抜群。長期滞在用アパート併設。日本食レストラン「伊万里」がある。

■Sheraton (シェラトン)

Jl. Embong Malang 25-31
TEL : 031-5468000 FAX : 031-5467000
料金 : 70米ドル (シングル、ツインとも)
VISA、MasterCard、American Express、Diners Clubなど
市内中心部に位置し、巨大ショッピングモールのタウンジュンガン・プラザに隣接。ショッピングに最適。長期滞在用アパート併設。

■Majapahit Mandarin Oriental (マジャパヒット・マンダリン・オリエンタル)

Jl. Tunjungan 65
TEL : 031-5454333 FAX : 031-5454111
料金 : 67米ドル (シングル、ツインとも)
VISA、MasterCard、American Express、Diners Clubなど
シンガポールのラッフルズホテルと同じ創立者が1910年ごろに建築したコロニアル調のホテル。市内中心部に位置し、巨大ショッピングモールのタウンジュンガン・プラザにも近い。長期滞在用アパート併設。

■Hyatt Regency (ハイヤット・リージェンシー)

Jl. Jend Basuki Rakhmat 106-128
TEL : 031-5311234 FAX : 031-5321508
料金 : 57米ドル (シングル、ツインとも)
VISA、MasterCard、American Express、Diners Clubなど
市内中心部に位置し、アネックスには東京三菱銀行や各種航空会社の事務所がある。長期滞在用アパート併設。

<4つ星ホテル>

■Novotel (ノボテル)

Jl. Ngagel 173-175

TEL : 031-5018900 FAX : 031-5018961

料金 : 50米ドル (シングル、ツインとも)

VISA、MasterCard、American Express、Diners Clubなど

市の外れに位置しているが、近くにショッピングモールが建設中である。長期滞在用アパート併設。

■Garden Palace (ガーデン・パレス)

Jl. Yos Sudarso

TEL : 031-5321001 FAX : 031-5316111

料金 : 35米ドル (シングル、ツインとも)

VISA、MasterCard、American Express、Diners Clubなど

市内中心部に位置し、近くにショッピングモールがある。水上公園にも近い。

<3つ星ホテル>

■Sahid Surabaya (サヒッド・スラバヤ)

Jl. Sumatera No.1

TEL : 031-5031106 FAX : 031-5036292

料金 : 25米ドル (シングル、ツインとも)

VISA、MasterCardなどの主要カード

市内中心部の駅裏に位置するビジネスホテル。

■Santika (サンティカ)

Jl. Pandegiling 45

TEL : 031-5667707 FAX : 031-5673242

料金 : 30米ドル (シングル、ツインとも)

VISA、MasterCardなど

市内中心部に位置するビジネスホテル。

6. アパート、ゲストハウス

■Puri Matahari (プリマタハリ)

Jl. H. R. Mohammad 181

TEL : 031-7326500

部屋タイプ : 2LDK~3LDK、メゾネットタイプ

家賃 : 2000~3500米ドル/月

スラバヤNo.1の高級アパートで、セキュリティもよい。日本人、欧米人等の外国人が多数入居しているが、家賃が高騰しており敬遠されつつある。テニスコート、プール、ジム、ゴルフショートコース完備。

■Somerset Puri Darmo (サマーセット・プリダルモ)

Jl. Raya Kupang Baru 17A

TEL : 031-7326066

部屋タイプ : 1LDK~3LDK、メゾネットタイプ

家賃 : 800~2500米ドル/月

日本人、欧米人も多く住むアパートで、セキュリティも比較的よい。テニスコート、プール、ジム、体育館完備。

■Graha Residen (グラハ・レジデン)

Jl. Darmo Harapan 1

TEL : 031-7329945

部屋タイプ : 1LDK~3LDK、ファミリータイプ

家賃 : 800~2500米ドル/月

日本人、欧米人も多く住むタウンハウスで、セキュリティも比較的よい。プール、ジム、スーパーマーケット完備。

■Kondominium Graha Famili (コンドミニウム・グラハ・ファミリー)

Graha Famili Estate

TEL : 031-7342694

部屋タイプ : 1LDK~3LDK、ファミリータイプ

家賃 : 1000~2500米ドル/月

日本人、欧米人も多く住むアパートで、セキュリティも比較的よい。プール、ジム完備。ゴルフ場に隣接。

7. 住宅斡旋エージェント

■Mrs. Natalia (ナタリア)

Jl. Welirang 3

TEL : 031-5344131

■ Mr. Agus (アグス)

Jl. Darmo Permai Selatan 13/9
TEL : 031-7312749

■ Mr. Deddy (デディー)

Raya Kupang Baru 40
TEL : 031-7349375

■ Mrs. Mimi (ミミ)

Jl. Darmo Permai Selatan 18/16
TEL : 031-7316354

8. 保険会社

■ P.T. Asuransi Mitsui Sumitomo Indonesia

Wisma Dharmala, 7F, Suite 02 A, Jl. Panglima Sudirman 101-103
TEL : 031-5318876 FAX : 031-5310826
三井住友系。

9. 衣類の購入

<一般の衣類/ショッピングセンター>

■ Tunjungan Plaza (トゥンジュンガン・プラザ)

Jl. Basuki Rahmad
SOGO (ソゴウデパート) も併設する国内でも最大規模のショッピングモール。ブランド品も豊富でほとんどのものが購入できるが、広すぎて迷うことがある。

■ Galaxy Mall (ギャラクシー・モール)

Jl. Darmahusada Indah Timur 37
上述のトゥンジュンガン・プラザに次ぐ高級ショッピングモール。洋服などかなりのものが手に入る。

<バティックの生地>

■ Batik Keris (バティック・クリス)

トゥンジュンガン・プラザ、ギャラクシー・モール内
バティックほか民芸品などを扱う大型店で、土産物も豊富。

■ Danar Hadi (ダナール・ハディ)

Jl. Raya Diponegoro 184
バティック専門の大型店。

10. ドライクリーニング

■ Royal (ローヤル)

Jl. H. R. Mohamad
市内のスーパー (Papaya、Hero など) にも多数ある。

■ 5a sec (リマアセック)

Jl. Kertajaya 159
Jl. Diponegoro 91C に支店がある。

11. 衣類等の仕立て店

<紳士服>

■ Tung Sie (トゥンシー)

Jl. Gubeng Kertajaya 7 Raya 3
シャツなどの仕立てもできる。

■ Oscar Tailor (オスカー・テイラー)

Jl. Mayjen Sungkono 180

<婦人服>

■ My Lady (マイレディー)

Jl. Manyar Tirtomoyo 3/23
生地も販売している。

■ Sisca Dressmaker (シスカ・ドレスメーカー)

Jl. Darmo Baru Barat 32
高級仕立て、値段は少々高め。

<靴、バッグ>

■Desin Nino (デシンニノ)

Jl. Embong Kenongo 42

皮革製紳士・婦人靴オーダー専門店。

■Cula Moss (チュラムス)

Jl. Karah 2/7

オーダーメイド皮バッグ。

12.理髪店・美容院

■Princess (プリンセス)

Darmo Park II Blok V/3

日本食スーパー「コスモ」の隣。男女、子供のカット、パーマ、セット、フェイシャル、マッサージなどがある。

■Jayanata (ジャヤナタ)

Jl. Mawar 4

ほかに3軒ある。女性のカット、パーマ、セット、フェイシャル、マッサージなど。化粧品も販売している。

13.レストラン

<日本料理>

■Nishimura (西村)

Shangri-La Hotel内

TEL : 031-5661550

寿司など日本料理はだいたいある。ホテル内なので値段は少々高め。

■Imari (伊万里) JW Marriott Hotel内

TEL : 031-5458888

寿司など日本料理はだいたいある。ホテル内なので値段は少々高め。

■Sui (粋)

Darmo Park II, Block V/9

TEL : 031-5672643

居酒屋、ラーメン、お好み焼き、定食豊富、在留日本人に人気が高い。

■Tong-Tong (とんとん)

Jl. Meyjen Sungkono, Bunderan Tol フードガーデン内

TEL : 031-7328847

スラバヤ唯一のラーメン専門店、定食も豊富。在留日本人に人気が高い。

<インドネシア料理>

■Kebon Kelapa (クボンクラバ)

Darmo Park II, Block V/9

TEL : 031-5661395

ジャワ料理、雰囲気もよく値段も手ごろ。

■Ulam (ウラム)

Jl. Kombes Pol. M. Duryat 1-5

TEL : 031-5480555

バリ風海鮮料理。

<中国料理・海鮮料理>

■Sea Master (シーマスター)

Jl. Meyjen Sungkono, Bunderan Tol フードガーデン内

TEL : 031-7321721

生簀の魚、伊勢エビ、シャコなどを選び料理方法を指定できる。大人数での食事に向いている。

■Sarkies (シャーキーズ)

Majapahit Hotel内

TEL : 031-5354333

飲茶あり。

<韓国料理>

■Baik Su (バイス、百壽)

Darmo Park I, Block 4/C-1

TEL : 031-5663881

韓国焼肉、冷麺も美味。

<p>■Myoung Dong (ミヨンガ、名家)</p> <p>Jl. Meyjen Sungkono, Bunderan Tol フードガーデン内</p> <p>TEL : 031-7328846</p> <p>韓国焼肉、豚足も美味。</p>

<西洋料理>

<p>■Angus House (アングスハウス)</p> <p>Jl. Pemuda 27-31, World Trade Center F6</p> <p>TEL : 031-5319282</p> <p>ステーキとスパゲティーの店、日本人シェフがいる。</p>

<タイ料理>

<p>■Coca Suki (コカスキ)</p> <p>Jl. Dr. Soetomo 51</p> <p>TEL : 031-5668493</p> <p>タイスキが評判。</p>

14.食料品店

<p>■Cosmo (コスモ)</p> <p>Darmo Park II, Block V/4-6</p> <p>TEL : 031-5684859</p> <p>日本食品、韓国食品、生鮮食料品の種類は少ない。</p>

<p>■Papaya (パパヤ)</p> <p>Jl. Darmo Permai Selatan 3 (1号店)、Jl. Raya Margorejo Indah 60-68 Blok A/138-146 (2号店)</p> <p>TEL : 031-7310990 (1号店) /8473636 (2号店)</p> <p>日本食品、韓国食品、生鮮食料品の種類も多く、焼きたてのパンを売るパン屋「小麦」を併設。洋酒、日本酒、焼酎、ワイン等種類も豊富。100円ショップも併設。2号店には日本食レストラン「フジヤ」併設。</p>
--

<p>■Hero Supermarket (ヘロー・スーパーマーケット)</p> <p>市内各所</p> <p>食料品、日用雑貨、国内最大手のチェーン店。</p>

15.医療機関

<総合病院>

<p>■HCOS (スラバヤ・インターナショナル病院)</p> <p>Jl. Nginden Intan Barat</p> <p>TEL : 031-5993211 FAX : 031-5993214</p> <p>1998年に設立された病院。設備、施設も充実しており、外国人の患者が多い。ヘリカルCTスキャンがある。市内東側に位置しており、日本人が多く住む地域からは遠い。</p>
--

<p>■R.S. Mitra Keluarga (ミトラクルアルガ病院)</p> <p>Jl. Satelit Indah II, Darmo Satelit</p> <p>TEL : 031-7345333/7345111</p> <p>1998年に設立された病院。設備、施設も充実しており、外国人の患者が多い。MRIも完備。市内西側に位置し、日本人が多く住む地域にある。</p>

<p>■R.S. Katolik (RKZ、エルカセ)</p> <p>Jl. Raya Diponegoro 51</p> <p>TEL : 031-5677562/5675446</p> <p>キリスト教系の病院で、緊急時の日本人の治療に十分対応できる。</p>
--

16.金融機関

<p>■Bank of Tokyo Mitsubishi (東京三菱銀行)</p> <p>Jl. Basuki Rachmad (ハイヤットホテルのアネックス)</p> <p>TEL : 031-5316682</p>

<p>■Bank Risona Perdania (りそな銀行)</p> <p>Jl. Raya Darmo 31 (東ジャワ日本人会1階)</p> <p>TEL : 031-5674326</p>

<p>■Bank UFJ Indonesia (UFJ銀行)</p> <p>Jl. Basuki Rachmad 129-137, Wisma Bumi Mandiri 8F</p> <p>TEL : 031-5319135</p>
--

■Citibank (シティバンク)

 Jl. Basuki Rachmad

 TEL : 031-5314331

 市内各所にATMがある。

17.航空会社
<国内航空会社>
■Mandala (RI) Jl. Raya Arjuna No.136A

 TEL : 031-5351111/5315484 FAX : 031-5352333

■Garuda Indonesia (GA)

 Jl. Basuki Rachmad (ハイヤットホテルのアネックス)

 TEL : 031-5456220/5326321 FAX : 031-5326322

■Merpati (MZ) Jl. Raya Darmo 111

 TEL : 031-5686917/5686402/5688111 FAX : 031-5615989

<外国航空会社>
■Singapore Airlines (SQ)

 Menara Mandiri # 10.04-10.06, Jl. Basuki Rachmat 8-12

 TEL : 031-5319215 FAX : 031-5319214

■Cathay Pacific (CX)

 Jl. Basuki Rachmad (ハイヤットホテルのアネックス)

 TEL : 031-5317543/5317421 FAX : 031-5321582

■Malaysia Airlines (MAS)

 Jl. Basuki Rachmad (ハイヤットホテルのアネックス)

 TEL : 031-5318632 FAX : 031-5318633

18.タクシー
■Surabaya Taxi (スラバヤタクシー)

 TEL : 031-3721234/3723377

 ジャカルタのブルーバード関連会社。運転手の教育、車の整備ともよく、最も信頼できる。

■Silver Taxi (シルバータクシー)

 TEL : 031-5600055~6

 市内西側の日本人が多く住む地域にタクシープールがあり、同地域への配車が早い。車は若干古いものの、信頼できる。

19.インターネット・プロバイダー
■P.T. Solusi Lintae Data Indointernet (インドネット)

 Jl. Kayun 24

 TEL : 031-5467959

 URL : <http://www.indo.net.id>

■P.T. Centrin Online TBK (センチュリンネット)

 Jl. Panglima sudirman 101-103

 TEL : 031-5471025

 URL : <http://www.centrin.net.id>

■P.T. Indosat M2 (インドサット)

 Jl. Kayun 68-74

 TEL : 031-5455001

 URL : <http://www.indosatm2.com/>

20.国際宅配サービス
■DHL

 Jl. HR. Mohammad 111

 TEL : 031-7343435

 営業時間 : 8 : 00 ~ 17 : 00 (月~金)、8 : 00 ~ 13 : 00 (土)

 日本 (東京) までの料金 (目安) : 500gまで27.31米ドル (要3日)

■OCS

 Ruko Plaza Segi 8 Blok C-807

 TEL : 031-7313332

 営業時間 : 9 : 00 ~ 16 : 30 (月~金)、9 : 00 ~ 13 : 30 (土)

 日本 (東京) までの料金 (目安) : 500gまで12米ドル (要3日)

21.日本人会

■東ジャワ日本人会

Jl. Raya Darmo 31 Bank Resona Perdania 4階

TEL : 031-5471400 FAX : 031-5673600

開館時間 : 9 : 00~19 : 00 (月~金)、9 : 00~17 : 00 (土)、日祝休館

事務局 : Ms. IdaもしくはMs. Yeniまで。

22.教育機関

<日本人学校>

■スラバヤ日本人学校 (SJS)

Jl. Jetišeraten Ketintang

TEL : 031-8283408 FAX : 031-8283409

入学手続き : スラバヤ日本人学校で入学申込書に記入し、提出する。旧在籍校から持参するものは、在学証明書、指導要録の写し、健康診断書、歯牙検査票である。渡航前に学校から教科書給与証明書を受け取り、海外子女教育振興財団に持参して教科書を受け取る。

入学金 : 幼稚部50米ドル、小中学部300米ドル。

授業料 (月額) : 幼、小、中いずれも月額250米ドル。

幼稚部、小学部、中学部がある。生徒数が少ないため (幼稚部27人、小学部52人、中学部12人、2004年2月現在)、教育が行き届いており、教育水準は日本の平均以上である。日本人の専任教員15人 (校長、教頭含む) がいる。入学に際しては両親が東ジャワ日本人会の正規会員であることが条件となる。

<外国人学校>

■Surabaya International School (SIS)

Jl. Citra Raya Tromol Pos 2/SBDK Profesor Dr. Suraya Sumantri

TEL : 031-7414300

入学手続き (必要書類) : 旧在籍校の在学証明書、パスポート、入学申込書、KITAS (滞在許可証)。

入学金 : 1500米ドル。

授業料 (年) : 幼児8862米ドル、1~5年生9678米ドル、6~8年生1万191米ドル、9~12年生1万560米ドル。

入学条件 : 英語力の試験があり、十分な英語力がないと判断された場合は、事前の英語学習が義務付けられている。

幼稚部と1~12年生まで。スラバヤ在留外国人子弟を受け入れ、国際交流教育に力を入れている。教師は英語圏各国より派遣されている。3学期制で授業は英語で行われる。

23.ゴルフ場

■Graha Famili (グラハファミリ)

Jl. Raya Graha Famili (市内西部)

TEL : 031-7315500

料金 : 約30万ルピア (土日祝)

メンバー制だが、一般ビジターも受けつける。

■Citra (チトラ) Jl. Citra Raya Utama Kota Mandiri (市内西部)

TEL : 031-7412555

料金 : 約60万ルピア (土日祝)

メンバー制。一般ビジターはメンバーの同伴が必要。

■Bukit Darmo (ブキット・ダルモ)

Jl. Bukit Darmo Raya No.1 (市内西部)

TEL : 031-7315555

料金 : 約30万ルピア (土日祝)

メンバー制だが、一般ビジターも受けつける。

■Taman Dayu (タマダユ)

Jl. Raya Surabaya Malang Km48 Pandaan 67156, Pasuruan (市内から約1時間)

TEL : 0343-633411

料金 : 約70万ルピア (土日祝)

メンバー制、一般ビジターはメンバーの同伴が必要。

■Finna (フィナ) Jl. Raya Barsari Prigen Pandaan 67157, Pasuruan (市内から約1時間)

TEL : 0343-634888

料金 : 約70万ルピア (土日祝)

メンバー制、一般ビジターはメンバーの同伴が必要。

24. 旅行代理店

■ Haryono Travel (ハルヨノ・トラベル)

Jl. Sulawesi 27-29 Hotel Panghegar内

営業時間：8：00～16：00（月～金）、8：00～12：00（土）

TEL：031-5033000

■ Orient Express (オリエント・エクスプレス)

Jl. Basuki Rachmad 109

営業時間：8：00～18：00（月～土）

TEL：031-5456666

25. 輸送会社

■ Crown Line (クラウンライン)

Jl. Raya Darmo Permai Selatan 22 ABasuki Rachmad 109

営業時間：8：30～17：30（月～金）、8：30～13：00（土）

TEL：031-7348333

日本人担当者が日本語で対応。

■ Nittsu Lemo (日通レモ)

Jl. Raya Cakung Cilincing Kav 14, Jakarta

営業時間：8：00～16：00（月～金）、8：00～14：00（土）

TEL：021-46823912

ジャカルタにある。日本人担当者が日本語で対応。